

pamphlet

本パンフレットの内容は2015年度の
セミナーをもとに作成したものです

キャリアを
考えることは
人生を
考えること

目次

先輩からメッセージ 2-3

プログラムデザイン 4-5

参加者の感想 6-7

国立女性教育会館 主催

リーダーシップIII 共催

女子大学生キャリア形成セミナー

PRESENTED BY NATIONAL WOMEN'S EDUCATION CENTER

先輩から メッセージ

平野 こずえさん

東燃ゼネラル石油株式会社
人事総務統括部総務部アドバイザー

萩原 貴子さん

株式会社グリーンハウス
執行役員

ずっと働き続けようと外資系に就職 仕事と育児で自分も成長



祖母がロールモデル

祖母は、大正元年生まれで歯科医をしながら子育てもしていました。私も祖母のように、仕事も子どももと思い、女性が仕事を続けられる外資系に女性専門職として就職しました。会社では、情報システム部やマーケティング部などを経て現職に至ります。

子育てで自分も成長

子どもを産んだときはすごくうれしくてこの世のものとは思えない、すばらしい幸福感を味わいました。しかし実際は、赤ちゃんは夜泣きをしたり、3時間ごとにミルクをあげなければいけなかったため、1日中ずっと赤ちゃんとの間で部屋にいる生活は心身ともにつらかったです。

仕事や勉強はがんばれば必ず成果が出ますが、育児はそうはいきません。例えば、私が有機野菜を煮込んで一生懸命作った離乳食をべーっと出してしまったりするのに、市販のレトルトの離乳食をばくばく食べたときなどは、

「努力は報われないことってあるんだな」「子育ては自分の思い通りに行かないんだな」と思いました。

育児はつらいこともありましたが、それ以上に『自分の命を投げ出してでも守ってあげたい』との想いが強くなりました。その後会社に戻り、子育てと仕事を通じて人と社会との関わりが広がっていきました。

20代はたくさん失敗していい

私が会社に入ったばかりの頃は、勘違いや人に聞かないままやっけてしまい先輩に怒られることもたくさんありました。それでも、失敗することを恐れず自分のポテンシャルを信じて働き続けることで、打たれ強くなっていったのだと思います。

仕事と育児の両立は十分可能です。出産時に退職してキャリアが途切れるとその後の復職が大変なので、ブランクを作らないで仕事を続けてほしいと思います。仕事を通して人のネットワークが広がり世界が広がっていきます。

自分の人生の主人公は自分 後悔のない選択をすることが大切



仕事を楽しみ、仕事が好きに自分に気づく

高校時代のアメリカ留学で習得した英語を武器に、海外営業を希望して1984年にソニー(株)に入社しましたが、配属先は人事部採用担当。当時は、多くの女性達がそうであったように、私も20代で結婚し出産退社を漠然と思い描いていました。その後、国際人事に異動し、海外で働く社員とその家族へのサポートから、海外経営者研修や人事国際会議の企画運営など、色々な仕事ができるようになり、仕事がとても楽しくなりました。日米合併会社への出向、マーケティングや経営戦略の仕事等、苦労や悩みもありましたが振り返れば色々な経験と出会いを楽しんできました。

ダイバーシティとの出会い

人材開発部の部長をしていた2005年頃、ダイバーシティ推進が経営戦略にとって重要なテーマとして取り上げられはじめ、社長直轄全社プロジェクトでジェンダー(女性活躍推進)について

活動。その後、ダイバーシティ開発部の部長となり障がい者雇用、LGBT(性的マイノリティ)、その他幅広く人権に関する活動への関心を広げてきました。海外、社外の担当者、関係者等々、交流する人脈が広がり色々な視点で物事をとらえ考えることが重要だと気づかされました。

人生はこれからますます面白くなる

50歳を過ぎた今、働き甲斐を求めて、食とホスピタリティに関する事業を国内外で展開する(株)グリーンハウスで新たなキャリアを歩み始めています。「人に喜ばれてこそ会社は発展する」という社是に共感する社員の約7割が女性です。新しい仲間たちとともに、年齢、性別等に関わらず、一人ひとりの社員がいきいきと働く環境づくりに貢献していきたいです。仕事をすることは私にとっては生きることと同義だと感じるようになりました。これからもたくさんの経験と出会いを楽しみにしています。

プロフィール

上智大学文学部卒業後、1986年、男女雇用機会均等法施行元年にエッソン石油(株)(現エクソンモービル)に入社。2000年エクソンモービル日本法人の合併プロジェクト参画。国内および海外拠点の設備管理および監査実施。2012年東燃ゼネラル石油(株)がエクソンモービル販売権継承したことに伴い現職。主に国内、海外拠点のセキュリティのアドバイザー業務遂行。

プロフィール

慶應義塾大学法学部卒業後、1984年ソニー(株)入社。国際人事を含む人事業務全般・経営戦略・マーケティング部門を経験。2008年からダイバーシティ開発部部長。2010年特例子会社(3社)取締役。2014年ソニー希望・光(株)代表取締役。2015年2月より現職。

パネルディスカッション 1

～とっておきのトークを聞こう～
第一線で活躍する女性から女子大学生へ伝えたい、とっておきのトークで、働く女性の熱い想いに触れてください。

パネルディスカッション 2

～パネリストに質問しよう～

- Q1 20代に結婚・出産したいし、仕事のスキルもあげたい。どちらを選べばいいの？
- Q2 男性の多い職場で困ったことは？
- Q3 集団をまとめていく秘訣は？
- Q4 自分に向いている分野は？

情報提供

～女子大学生追跡調査結果から～
データによると、就職前は継続就業を希望する一方で家庭志向が強く、就職後は正社員として仕事と家庭を両立したいと考える傾向が見られるといった、働く女性のおかれている状況を読みときます。

女子大学生のための キャリア形成 プログラムデザイン

このセミナーでは、社会で活躍する女性リーダーを育成するために3つの学びの機会を提供します。

- 1 人生を主体的に生きることを考える
- 2 ライフイベントについて考え選択肢を知る
- 3 個人のキャリア形成が社会に良い影響を与えることを考える。

キャリアプランニングシート

F: あなたのEを解決するために具体的にどんなことができると思いますか？	C: あなたの心や体にプラスのパワーを与えてくれる物(時)は何ですか？	G: あなたが社会貢献(社会に働きかけ)できることは何ですか？
B: あなたの強みは何ですか？	私のキャリア 大作戦	D: キャリアを重ねて得たいことは何ですか？
E: 社会に出て不安なこと心配なことを3つあげてください。	A: あなたの進みたい進路・方向性は何ですか？	H: あなたのキャリアを重ねていくために必要な活動や行動は何ですか？

交流会

～本音のトークをしよう～
参加者・パネリスト・セミナーOGがテーブルを囲み、普段友だち同士ではなかなか話さないようなことを話したり聞いたりする、本音トークタイムです。

グループワーク 1

～新たな自分探しをしよう～
グループワークを行い、いままで気がつかなかった自分のポジティブな面を知り、これからのキャリア形成の基本となる自分軸を持つヒントを掴みます。

グループワーク 2

～将来をデザインしてみよう～
自分の強みを知り、女性のライフイベントを考え、主体性を持って生きていくためのキャリアプランニングシート(左表)を作成し、明日への一歩を踏み出します。

参加者の感想

近藤光さん

山梨大学生命環境学部3年



私

はキャリアセミナーを通して<仕事と育児の両立>が可能であることを強く感じることができました。このセミナーに来るまで、出産をすることで他の人と能力の差が生まれてしまうのではないかと考えていました。しかしセミナーでは実際に育児をしながら職場で活躍している人の話を聞くことができ、考え方が一変しました。なかなか自分のキャリアについての悩みを話す機会がありませんでしたが、このセミナーには自分のキャリアを考えている人が多くいます。自分のことを話すことで、自分の考えを再確認でき、また他の人の話を聞くことで新たな考えに出会うことができました。このセミナーに参加してからは女性の職場での活躍について興味を持ち始めました。

★ ★ ★

戸澤真澄さん

日本女子大学人間社会学部3年

セ

ミナーに参加して、1番楽しかったのは夜の交流会です。普段生活してお話することの無いような社会



人の方や他大他学部の人とお話できたのは貴重な体験でした。最初こそ緊張しましたが、雑談など交えて様々なことを話すうちに「戸澤さんは家族思いだね」といった、自分では思いもよらなかった自分の長所について気づくことができました。

2日間のセミナーはあっという間でしたが、自分の将来についていろいろ考えさせられ、とても有意義なものになりました。

★ ★ ★

熊木葉子さん

株式会社大塚商会



普

段なら講演会で話されているのを遠くから聴くような方と、ガールズトークを交えつつざっくばらんに将来についてお話させていただきました。凄いい経験をお持ちの方でも、初めから凄

新しい自分に出会える！

将来を考えるきっかけとなった

1人での参加でも大丈夫
すぐに打ち解けられる環境

かったわけではなく迷い悩みながら少しずつ前へ進まれていったのだということを実感し、励まされました。

また、様々な経歴を持った同世代の女性と真面目に将来について語れたことも大きな収穫でした(私は学生時代、自分と似た考えの方と行動することが多かったです)。このセミナーで多様な考えに触れ、以前より柔軟に物事を考えられるようになりました。

★ ★ ★

西村彩香さん

千葉大学文学部3年



1

人で参加するという不安と、周りの子は意識が高い子が多いんじゃないかな、話が合わないんじゃないかなというイメージがあり、初めは緊張していました。しかし、まったくそんなことはなく、フランクに思ったことをそのまま話すことができました。話しあっていく中で、『私って結構自分の意見言える方じゃないかな』『もっと自信持っていいんじゃないかな』と思えるようになり、今までは気づかなかった自分の長所に気づくことができました。

最近、公務員試験の勉強に追われているけど、友達とご飯を食べたり、映画を見たり、カフェで一人でぼーっとしたり、うまくリフレッシュしています。

★ ★ ★

三上遥さん

日本女子大学人間社会学部3年



女

子大学生キャリア形成セミナーに参加して、1番自分にプラスになったのはグループワークでした。1日目の交流会で皆と打ち解けることができた上での2日目のグループワークだったので、同じ班のメンバーの皆とたくさん意見を交わすことができました。

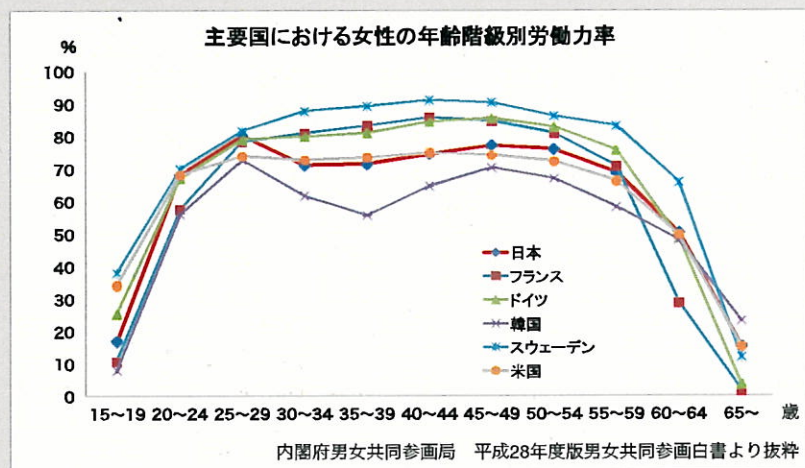
社会のトップにたつ年代の男性はまだまだ女性のワーク・ライフ・バランスについての理解が進んでいないのではないと思うことが多く、その思いを全体に発表したことで、将来は女性労働の支援をする活動をしてみたいと思いました。



女性の働き方をデータで見ると...

一人ひとりそれぞれの生きがいがあり、仕事、結婚、出産、子どもの教育、介護、退職などのライフイベントも一人ひとり違います。多くの大学生のみなさんは、就職もしていないし、これからの長い人生は予定を立てた通りにはいかないと考えているかもしれません。しかし実社会で、女性はライフイベントにおいて少なからず影響を受けることとなります。

下のグラフは女性の年齢階級別労働力率の国際比較を表したものです。日本の女性の働き方はM字カーブを描いています。これは、女性が出産・育児をする30歳代で就業率が落ち、子育てが一段落した40歳代に再就職する人が多いことを示しています。仕事と出産・子育てを両立して働き続けられる環境整備を継続して進める必要があります。



国立女性教育会館

女性教育のナショナルセンターとして1977年文部科学省の所管として設立されました。男女共同参画を推進するために国、地方公共団体、男女共同参画センター、女性団体、大学、企業と連携しながら、組織のリーダーや担当者を対象にした研修、教育・学習支援、専門的な調査研究、情報の提供などを行っています。

リーダーシップ111

21世紀に向けてリーダーシップの新しいスタイル、新しいフレーム、新しいパラダイムを作り出そうと活動する女性グループです。企業、官庁、マスコミ、医学、学術などの各分野でリーダーとして活躍する会員約90名が、相互交流を深め、国際的な交流を行ない、女性のリーダーシップ力を高める事を目的に活動しています。